

# 平成 26 年度第 4 回北海道立生涯学習推進センター運営協議会専門部会会議記録要旨

## 1 開催日時

平成 27 年 3 月 19 日（木）13：30～14：45

## 2 開催場所

札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 1 番地 かでる 2・7（8 階）  
北海道立生涯学習推進センター教材制作室

## 3 議事

- (1) 道民カレッジ（ジュニアコース）受講システム及び称号授与について
- (2) 道民カレッジ指定講座の認定について

## 4 配布資料

- ・道民カレッジ（ジュニアコース）受講システム及び称号授与について
- ・道民カレッジ指定講座の認定について

## 5 出席者

- 北海道立生涯学習推進センター運営協議会専門部会委員（部会長、以下委員五十音順）  
三上部会長、今委員、佐藤委員
- 北海道立生涯学習推進センター職員（運営協議会事務局）  
毛利所長、柴田主幹、天山主幹、柴野主査、會田主査、本田主査、中山主任

## 6 審議等の概要

事務局による説明の後、委員が意見を述べた。主な発言は次のとおり。  
（以下、発言順の掲載 ○委員 ●事務局）

### (1) 議事

#### ①道民カレッジ（ジュニアコース）受講システム及び称号授与について

- （資料 1 により説明）
- これまでの話し合いの確認になりますが、資料 1 の 2（2）の連携講座のジュニアコースの選定条件ですが、①～④のどれかひとつ当てはまるものという理解でよろしかったでしょうか。議論にもありましたが、連携講座に申請してくる団体は、全て①の「道民カレッジに賛同する機関や団体、企業等」であると思います。
- 「道民カレッジに賛同する機関や団体、企業等が開催する講座」のうち、②～④に当てはまるものです。
- この後の運営協議会では、そのあたりを補足して説明してください。

#### ②道民カレッジ指定講座の認定について

- 例えば、函館文学館では、7 講座ありますが、指定講座が 7 講座ということなのでしょうか。
- 連携講座としては 7 回の実施にありますが、7 回全て合わせて指定講座 1 講座として扱います。受講者の中には、連携講座 1 講座として単位認定を受ける方や、全講座を受講して指定講座 1 講座の単位を受ける方もいらっしゃいます。
- 受講者の方への説明のときには、1 回 5 時間以上の講座や 3 回以上の連続講座で指定講座 1 講座分になるなど、もう少しわかりやすい表記が必要かと思います。
- 道立図書館は、指定講座の認定要件としては、時間数、開催回数足りないのではないのでしょうか。

- 道民カレッジ事務局から専門部会に対しまして、指定講座の認定の可否について諮られているものですから、認定の要件に合わなければ、指定講座として認定しないとの御判断をいただいても構いません。  
道民カレッジ事務局としましては、「ほっかいどう学」の講座の普及に努めたいという意図もあり、指定講座としてあげてきているかと考えられます。
- 道民カレッジ事務局の意図がこれだけではわかりません。表記ミスを含めて、道民カレッジ事務局に確認をさせます。
- 実施時間に一部間違いがありましたが、指定講座としては連続2回として選定しています。
- 道立図書館の講座は、昨年度も指定講座になっているのでしょうか。
- 昨年度は、道立図書館から連携講座の申請はありません。
- 各連携講座の実施回数、時間数を考慮し、道民カレッジ事務局が指定講座として選定するそうですが、指定講座に認定してほしいと希望してくる団体等がありますか。
- 指定講座の認定に当たっては、要件を満たしている講座の実施団体等に対して、道民カレッジ事務局から依頼しています。指定講座の開催が少ない地域では、教育委員会から、実施講座を指定講座に認定してほしいとの希望があがってきたことがあるようですが、3回以上の連続講座としたり、1回の講座の実施時間を5時間以上にしていただくなど要件を満たすようお願いしています。
- 連携講座の実施団体等が不公平感を持たないように進めていただければと思います。
- 講座数を増やす、または1回の実施時間を要件を満たすように変更できるかを道立図書館に確認します。変更ができないようでしたら、公平性を保つために、今回は指定講座から外す方向で私も本部事務局としては調整いたします。
- 実施講座を増やしていただくなど、なるべくこのまま指定講座として実施できるよう調整していただきたいと思います。
- このような事業を実施してほしいなどと実施団体等へこの部会からは、意見を申し上げることはできないのでしょうか。道立図書館は、他県の図書館に比べてもビジネス支援の実施などで評価を受けています。様々な資料を活用した地域づくりの講座、資料紹介を含めた講座など実施していただければと思います。
- 資料2-2のジュニア向け連携講座一覧でネイパル深川の事業で「防災キャンプ」がふたつありますが、間違いでしょうか。
- もうひとつは正しくは「環境キャンプ」ですので、訂正いたします。
- ジュニア向け連携講座の事業名では、子供向けの柔らかいネーミングや少し堅いイメージを受ける事業名など、施設により様々です。募集時に事業名を変えたりするのでしょうか。
- 各道立施設が決定した事業名であります。例年、どの施設もサブタイトルをつけるなどして親しみやすい事業名で開催要項を作成し募集しています。

ほかに御意見がなければ、以上を持ちまして、本日の議事を終了いたします。